

全国福祉医療施設協議会 令和5年度事業報告

1. 地域共生社会の実現に向けた生活困窮支援等の継続的な展開と無料低額診療事業のあり方に関する検討と実践

(1) 無料低額診療事業の継続的な実施と生活困窮者への実践の展開

- 各会員施設の福祉実践促進のため、会報や全国大会・セミナー等において会員施設における地域の生活課題に対応する福祉医療実践を共有した。
- 「令和5年度無料低額診療事業実施状況調査」により、無料低額診療事業の実績とともに地域の生活課題への支援(相談支援、アウトリーチ等の実践)に関する情報を収集し、会員間の情報共有を図った。
- 令和5年度発行の「紀要」については投稿論文等とともに生活支援の実践事例を募集・掲載することとし福祉医療施設における実践事例の蓄積と見える化に向けた取り組みを進めた。

(2) 福祉医療施設における関係機関等との連携・協働による事業の展開

- 全国大会の講演、シンポジウムにより「社会的処方」に関する理解を深めるとともに、会員施設実践報告などをもとに、今後の福祉医療施設の役割を研究・協議し、各地での福祉医療実践の推進を図った。
- 会報の「地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践」の連載コーナーを継続し、「連携・協働」や「地域における公益的な取組」等をキーワードとする実践事例を発信した。

(3) 無料低額診療事業のあり方等に関する検討と厚生労働省所管課との協議等

- 無料低額診療事業実施状況調査の結果や、各都道府県における生活保護受給者や生計困難者等の生活困窮者に対する福祉医療実践の状況をもとに総会・各委員会において検討と意見交換を継続した。
- 無料低額診療事業に関する厚生労働省所管課からの照会事項等(「生活保護受給者、外国人への支援内容等」、「MSWの配置状況と支援内容等」「無料低額診療情報のレセプトへの記載」等)について、これまでの実施状況調査結果や各地域の状況等をもとに、正副会長・委員長が随時対応し、提言等を進めた。

2. 調査研究の実施

(1) 無料低額診療事業の現状等の把握と福祉医療実践の推進

- ・「新型コロナウイルス感染症にかかる無料低額診療所への影響に関するアンケート調査」について内容を精査し、今後とも必要な調査項目を実施状況調査に統合し、会員施設の負担軽減を図りつつ、必要な調査事項の把握を行った。
- ・総務委員会および調査研究委員会において福祉医療実践の推進に資する調査研究、テーマなどについて検討し、福祉医療実践の展開と見せる化に向けて生活支援事例を継続して収集するとともに、これを踏まえながら会員施設に対する実践方策の提示に向けて、全国大会・セミナー等の企画に反映し、情報提供等を進めた。

(2) 無料低額診療事業をめぐる状況把握、分析

- ・無料低額診療事業のさらなる推進に向け会員施設の実践等を把握するため、会員施設を対象に「無料低額診療事業実施状況調査」を実施した。分析及び年度比較を行い、調査結果等は紀要にて会員施設への情報提供等を進める。

(3) 無料低額診療事業の実践に関する「紀要」の発行

- ・通算14号となる令和5年度「紀要」をとりまとめた。大会分科会発表資料のほか、生活支援事例を掲載し、福祉医療実践により資するものとした。

3. 組織強化に向けた社会福祉法人への働きかけ、連携・協働

- ・総務委員会において、入会促進及び各地域における連携・協働の働きかけなど今後の組織強化等の取り組みについて検討し、協議員との共有を図った。
→ 令和5年度入会 2施設

4. 第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会の開催

- ・第33回(令和5年度)全国大会は、感染防止対策と会員法人の利便性を高め参加促進を図るため、ハイブリッド形式(京都府・会場での集合およびZ o o m)により開催した。

(1) 大会概要

- テ ー マ 「深刻な地域生活課題に寄り添う福祉医療施設であるために
～地域に密着した福祉医療とその見せる化に向けて～」
- 日 程 令和5年10月23日(月)～24日(火)
- 実施方法 ハイブリッド形式(集合 および オンラインの併用)
- 会 場 京都ガーデンパレス 2階「葵の間」
- 参加者 122名(会場参加98名・オンライン参加24名)

(2)プログラム**○会長あいさつ・基調説明**

「福祉医療施設をめぐる動向と全国福祉医療施設協議会の取り組み」

全国福祉医療施設協議会 会長 松川 直道

○パネルディスカッション

「福祉医療施設の経営課題への対応を考える」

<パネリスト>

厚生労働省 社会援護局総務課

企画法令係長 入屋 翔伍 氏

独立行政法人 福祉医療機構経営サポートセンター

シニアリサーチャー 千葉 正展 氏

全国福祉医療施設協議会

副会長 杉木 康浩 氏

○分科会**第1分科会**

「経営実践・福祉医療実践報告」

<進行・助言>

社会福祉法人 京都博愛会 富田病院

事務長 伴 卓浩 氏

第2分科会

「MSW実践報告」

<進行・助言>

社会福祉法人 恩賜財団済生会 京都済生会病院

福祉相談室室長 島田 浩 氏

○シンポジウム

「暮らしと地域を支える福祉医療実践 ～社会的処方と見せる化の観点から～」

<シンポジスト>

特定非営利活動法人 東京YWCA理事長

全国福祉医療施設協議会協議員 田島 誠一 氏

大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室

講師 西岡 大輔 氏

京都保健会 京都民医連中央病院 福祉医療課

主任 植松 理香 氏

<コメンテーター>

順天堂大学大学院 医学研究科

医学研究学教授 武田 裕子 氏

<コーディネーター>

全国福祉医療施設協議会

副会長 林 泰広 氏

5. 第26回(令和5年度)全国福祉医療施設セミナーの実施

- 社会保障制度改革等の動向と会員施設のニーズ等を踏まえ、無料低額診療事業の基本を確認するとともに、令和6年度の診療・介護・障害福祉サービス等の報酬改定(トリプル改定)をテーマとし、医療と介護・福祉との連携を焦点に、講義とディスカッション等を実施した。

(1) セミナー概要

- テーマ 「トリプル報酬改定と医療介護連携」
- 日 程 令和6年3月19日(火)
- 実施方法 オンライン開催(Zoomを使用)
- 参加者 119名

(2) プログラム

○ 講 義

オープニング講義「無料低額診療事業の基本」
全国福祉医療施設協議会

協議員 田島 誠一 氏

講義Ⅰ「トリプル改定(診療・介護・障害福祉報酬)のポイント」
株式会社 メディカルクリエイト

シニアコンサルタント 石井 富美 氏

講義Ⅱ「介護から見た医療と福祉の連携について
～令和6年度介護報酬改定内容もふまえて～」
天晴れ介護サービス総合研究所株式会社

代表取締役 榊原 宏昌 氏

○ ディスカッション

「報酬改定・医療福祉連携にかかる現場の取り組み」

<司会>

社会福祉法人 聖隷福祉事業団聖隷淡路病院

事務長 中村 知明 氏

<コメンテーター>

社会福祉法人 緑風会緑風荘病院

業務執行理事兼本部事務長 杉木 康浩 氏

株式会社 メディカルクリエイト

シニアコンサルタント 石井 富美 氏

天晴れ介護サービス総合教育研究所株式会社

代表取締役 榊原 宏昌 氏

6. 広報・情報提供の強化

(1) 無料低額診療事業の理解促進等

- 総務委員会において、無料低額診療事業のPR等に向けた情報発信の内容等を検討し、ホームページの更新・充実等を進めた。
- 会員施設には会員専用ページを活用し無料低額診療事業に関する資料等のデータを掲載し、会員施設内での有効活用を通じた事業等への理解を促した。
- 市町村社会福祉協議会や福祉事務所といった関係機関への理解促進に向け、各地域の現状と課題、また具体的な取り組み事項の共有を図るため、総務委員会および調査研究員会において協議や意見交換を行い、取組事例等については、全国大会等で発信した。

(2) ホームページの充実と運営

- 総務委員会において、ホームページの掲載内容、コンテンツ等の拡充について検討を行い、年に6回の更新を行った。更新の際には全国大会やセミナーの報告、会報のPDFデータの掲載を進めた。

(3) 「福祉医療協ニュース」、メールニュースの発行

- 会報「福祉医療協ニュース」を発行し、国の政策や諸改革等の動向に関する情報を会員施設等へ提供した。それとともに会員施設等での取り組みを紹介する事により、福祉医療施設の役職員の意識啓発、情報共有を図った。

※会報送付部数は、各号につき会員施設5部(院長、事務長、看護部長、MSW等)、協議員、都道府県社会福祉協議会、福祉医療施設協議会都道府県事務局各1部を基本とした。

- ホームページの更新やお知らせ等について、メールニュースを活用し、迅速な情報発信を行った。
- 「福祉医療協ニュース」は年3回発行(1号は発行準備)、メールニュースを随時配信した。

「福祉医療協ニュース」発行状況

○118号(令和5年7月31日発行)

全国福祉医療施設協議会の動向として役員挨拶と協議員名簿の掲載、国の動向として「今後の医療・介護の提供体制が目指す姿ポスト2025を見据えた医療介護総合確保方針の改定～」を掲載した。

- 119号、120号、121号については連載「福祉医療協の歴史とこれから」、「実践報告」、「地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践」のほか、特集記事として以下の内容等を掲載した。

○119号(令和6年12月31日発行)

「暮らしを支え続ける福祉医療実践～医療と福祉を必要とする方々に寄り添う支援～」をテーマに、MSW座談会を実施し、掲載した。

○120号(令和6年3月31日発行)

第33回全国福祉医療施設大会における基調報告、パネルディスカッション、シンポジウムでの内容について掲載した。

○121号(令和6年4月発行)

「診療報酬改定と医療福祉連携を考える」をテーマに、全国福祉医療セミナーにおける講義、ディスカッションの内容について掲載した。

7. 全社協関係委員会等への参加と事業協力

(1)「政策委員会」への参加、協力

杉木 康浩 副会長が委員として参画した。

(2)「国際社会福祉基金委員会」への参加、協力

林 泰広 副会長が委員として参画した。

(3)「社会福祉施設協議会連絡会」「同 調査研究部会」への参加、協力

「社会福祉施設協議会連絡会会長会議」は松川 直道 会長が、
「同 調査研究部会」は中村 知明 調査研究委員長がそれぞれ参画した。

○「全社協福祉懇談会」(令和5年10月12日)に役員が出席し、社会保障・社会福祉の拡充に向けて、各施設種別協議会と共同して提言・要望するとともに、関係国会議員や厚生労働省、こども家庭庁幹部との懇談、意見交換を行った。

○令和6年能登半島地震の被災地支援にあたり、社会福祉施設協議会連絡会と連携し、義援金や応援職員派遣等に協力した。

8. 諸会議の開催

(1)協議員総会

○第1回 5月31日(ハイブリッド開催)

①令和4年度事業報告、決算

②役員改選

○第2回 10月23日(集合開催)

①令和5年度事業進捗状況等

②第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会の運営

③第34回(令和6年度)全国福祉医療施設大会 等

- 第3回 3月15日(集合開催)
 - ①令和5年度事業進捗状況
 - ②令和5年度「研究紀要」について
 - ③令和5年度補正予算(案)について
 - ④令和6年度事業計画(案)ならびに令和6年度予算(案)について

(2) 正副会長会議、常任協議員会(随時開催)

- 第1回 5月31日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業、重点事項等
- 第2回 2月29日(オンライン開催)
 - ①令和6年度事業計画、予算等

(3) 委員会

【総務委員会】

- 第1回 7月18日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業の進め方、無料低額診療事業の現状と課題等
 - ②第33回(令和5年度)全国大会の開催
 - ③広報・情報提供の強化
- 第2回 12月20日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業進捗状況
 - ②第33回(令和5年度)全国大会の開催報告
 - ③令和6年度事業に向けての重点事項検討
- 第3回 3月5日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業進捗状況ならびに補正予算(案)
 - ②令和6年度事業計画(案)ならびに当初予算(案)
 - ③第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会について

【調査研究委員会】

- 第1回 7月28日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業の進め方、無料低額診療事業の現状と課題 等
 - ②令和5年度に実施する調査
 - ③令和5年度「研究紀要」の発行
- 第2回 12月19日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業進捗状況
 - ②第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会の開催報告
 - ③令和5年度セミナーの企画について
 - ④調査・紀要の進捗状況及び活用方法
 - ⑤令和6年度事業に向けての重点事項検討
 - ⑥令和6年度調査項目について

- 第3回 3月11日(ハイブリッド開催)
 - ①令和5年度事業進捗状況
 - ②令和5年度「研究紀要」の作成について
 - ③令和5年度調査集計結果について

【無料低額診療事業のあり方検討会】

- 無料低額診療事業の基準要件等に関する厚生労働省からの照会事項等に対して随時対応した。調査研究委員会とあわせて課題等の検討を進めた。

9. 令和5年度入会・退会状況

- 入会施設：2施設
 - ・社会医療法人 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院(千葉県)
 - ・社会福祉法人 済生会 大阪北リハビリテーション病院(大阪府)

- 退会施設：1施設
 - ・社会福祉法人 済生会 熊本病院 (熊本県)

※令和6年3月末日現在、会員150施設(病院134施設、診療所16施設)